

2013 年 10 月 12 日（土）～14 日（月）東北復興支援ツアー

其の 2（二日目：紅葉の栗駒山ハイク）

レポート by 熊本（写真：熊本、高橋雄、伊能、鵜飼、堀、能勢）

13 日（日）は今回のメインイベント：紅葉の栗駒山ハイクである。

昨夜 21 時半頃、リーダーの高橋文さんが到着。

深夜 1 時頃の台風並の風と雨で目が覚めた。このまま朝まで続いたらとても登山など出来ない大荒れ模様だ。朝には雨・風が止んでいることを祈って眠る。



朝 3 時に雨で目が覚め、伊能さん、能勢さん、熊本が風呂にはいりに行く。外は濃いガスで何も見えなく、雨が降っていた。再び布団に潜り、微睡む。再度 5 時に起き、再び風呂へ。6 時頃に明るくなり、3 階の部屋からガスが切れた瞬間に紅葉の写真を一枚撮る。まだ小雨が降っている。



7：30 朝食

バイキング形式の朝食に腹一杯詰め込む。



8:15 須川高原温泉ホテルの玄関前に集合し、ストレッチ体操。小雨模様のため、完全な雨対策で登山準備。



ストレッチ体操で体を解し、登山開始前に記念の集合写真を撮り出発。  
(8:20)



登山道は硫黄泉源泉のところが登山口  
幸いなことに雨は上がっていた。



登山口から5分程、登って振り返った写真



須川高原から少々高度を稼いだあたりの紅葉が結構綺麗であった。



25分ほど登ると名残ヶ原の湿原にでる。

湿原は「草モミジ」で一面黄茶色に染まりこれも綺麗だ。



ナナカマドが赤くなり、赤い実も多数ついていた。



9:05 一旦、沢に下り昭和湖への登りとなる。



まず、最初の景勝地「昭和湖」に向かって登る長蛇の登山客。マイペースで歩ける状態ではない。  
このあたりの紅葉は終わりかけ、草紅葉は綺麗だが、木々の紅葉は終盤で鮮やかさはなかった。



9:25 昭和湖に到着。  
晴れていれば、エメラルドグリーンに輝く湖面だが、霧雨状では・・・・



9:30 昭和湖をバックに全員で記念写真を撮る。

風が強く、小雨が降り、これから先の急登は紅葉も望めず、ガスで展望もないとのことで、我々は中腹の紅葉に焦点をあてることにし、この地点から下山を決断した。

2007年8月の栗駒山挑戦時も強風のため、山頂目前で登頂を断念し撤退し、これで2連続。次回再リベンジする目的ができた。



中腹の紅葉は常緑樹の緑に黄色や赤の紅葉が綺麗に映えていた。



名残ヶ原の入口まで戻り、そのまま直進すれば登ってきたコースを戻ることになるが、左折し、登りとは別のルートで須川高原登山口まで戻ることにした。



名残ヶ原から左折した木道にルート変更。



名残ヶ原から分岐のところで・・・



道は泥濘で、歩きにくいが  
登山道周辺は赤や黄色に色付いた紅葉が楽しめる。



暫く樹林帯を歩くと再び開けた  
木道の湿原に出た。  
草紅葉も鮮やかに輝く。



この付近の紅葉も見ごたえあった。



須川高原温泉に向かう登山道の紅葉は非常に綺麗であった。





見事な紅葉を  
バックに記念  
の一枚。



雨はやみ、紅葉の写真撮るに余念が  
ない。





10:45 登山口の噴煙あげる源泉が見えてきました。

11 時に須川高原温泉に戻り、3 時間弱の紅葉ハイクであった。温泉入浴し、12 時に須川温泉を後に一関へ向かう。



13:45 一関駅に戻ってきた。

ここで、雄さん、文さんのレンタカーを返却する。





駅前の「そばはな」で一泊組と 2 泊組のお別れそば昼食会



ひがしやま観光ホテルへ向かう被災地訪問組の皆さん 7 名と本日帰路組がここで、お別れ、



岡部さんは息子さんのいる盛岡へ、伊能さんは仙台へ、残った小山さん、雄さん、熊本の 3 名がやまびこ 62 号で帰路に着きました。